

RESA（滑走路端安全区域）について

令和元年10月29日（火）

北九州空港機能強化・利用促進特別委員会（第2回）

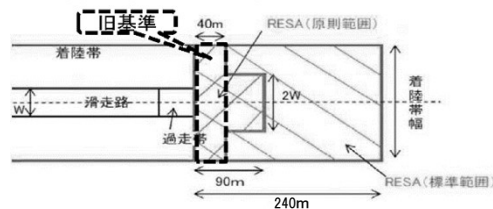
① RESA（滑走路端安全区域）とは

- ・ 航空機が離着陸する際に滑走路を超えて走行し停止する「オーバーラン」または航空機が着陸時に滑走路手前に着地してしまう「アンダーシュート」を起こした際に、人命の安全を守り、航空機の損傷を軽減させるため、着陸帯の両端に設けられる区域。
- ・ 国内の多くの既存空港は、旧基準であるRESA長40mで整備されてきたが、平成22年国際機関であるICAOの勧告を受け、平成25年に基準を改正し既存空港も含むすべての空港に国際基準を適用することとした。

< RESAの位置 >



< 国内基準のRESA範囲 >



② 北九州空港のRESAについて

方式：滑走路の移設

規格：長さ90m、幅120～300m

表面：北側 舗装＋緑地、南側 緑地

